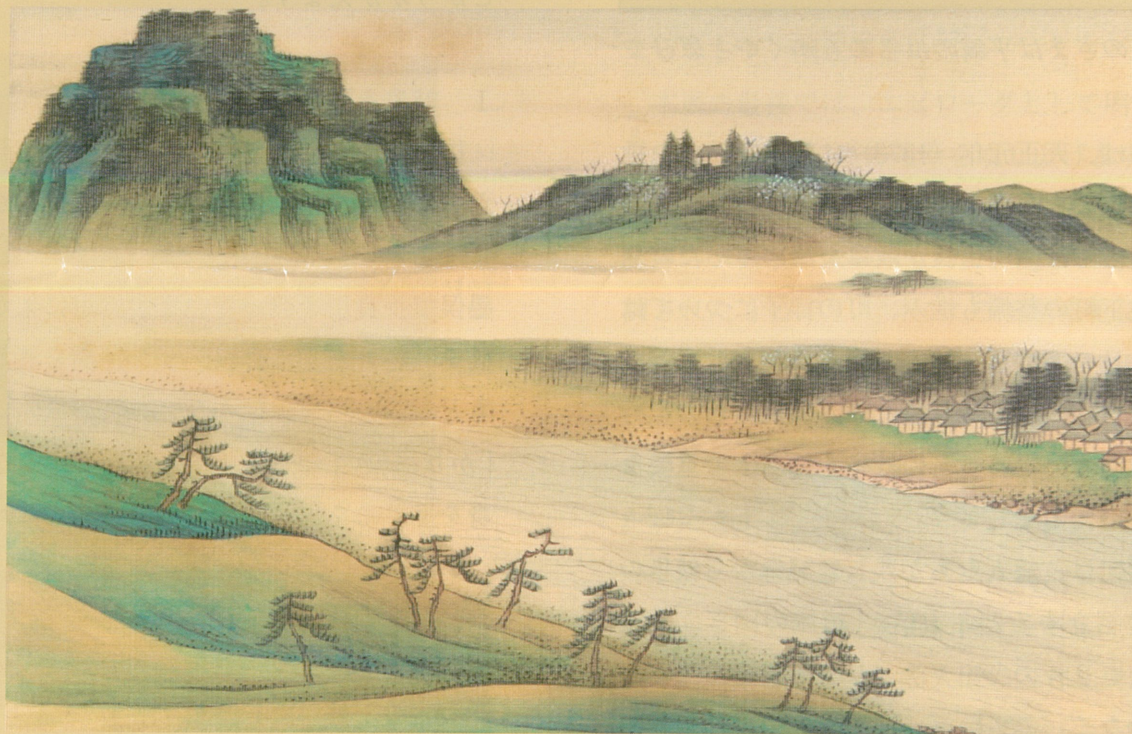




ごきしちどうず とうさん きしょうのず
五畿七道図 東山奇勝之図

寛政8年(1796) 淵上旭江(画)

岡山県立美術館蔵

「五畿七道図」は日本各地の名勝旧跡を緻密に描いた作品で、大坂の廻船問屋の和田隆侯^{りゅうこう}の求めによって制作されたものです。全484図、全16帖からなる大規模な作品で、このうち「東山奇勝之図」に「美濃岐阜」と題した景観図が含まれます(上の写真)。本図は、長良川右岸より岐阜町を描いたもので、場面右側に中河原新田^{なかがわらしんでん}、左奥に金華山^{きんかざん}を配置します。中央の微高地は権現山^{ごんげんやま}でしょうか。

作者の淵上旭江^{かみやまさか}は、上山坂村(今の岡山県玉野市)の農家の生まれで、全国各地を遍歴した絵師です。寛政11年(1799)から享和2年(1802)にかけて刊行した『日本勝地山水奇観^{にほんしょうちさんすい}』は、「五畿七道図」をベースに制作されました。

旭江が描いた美濃の風景は、岐阜町、太田川、落合橋、観音坂の4地点であり、当時から金華山と長良川が美濃の名所として認識されていたことがうかがえます。全ての風景を旭江が実見していない可能性も指摘されていますが、元図となるような絵画作品は見つかっておらず、旭江が実際に岐阜町を訪れた可能性は高いでしょう。

(「清流の国ぎふ」文化祭2024関連特別展「つなぐ」にて展示)

展覧会情報

本誌 2、3 ページ、6 ページで紹介した以外の本館・分室の展示は以下の通りです。

本館 1 階特別展示室

- 12月13日（金）～3月9日（日） 企画展「ちょっと昔の道具たち」
- 3月29日（土）～ 企画展「実りの考古学」

特集展示（2 階総合展示室内）

2 階の総合展示室の一角に特集展示室を設置し、1 ～ 2 か月ごとにテーマを設けて資料を公開しています。これからの日程は次のとおりです。

- 11月23日（土）～1月26日（日） 「別府細工」
- 2月1日（土）～3月2日（日） 「江戸時代の町人文化」

分室 原三溪記念室の展示

- ～10月14日（月・祝） 三溪が見た岐阜の風景
- 10月16日（水）～12月1日（日） 三溪と故郷（ふるさと）・岐阜（予定）

利用の御案内

■ 開館時間 午前9時～午後5時

（歴史博物館の入館は午後4時30分まで）

※特別展開催中は変更することがありますのでご注意ください。

■ 休館日 毎週月曜日と祝日の翌日、年末年始

（12月28日～1月3日）

（月曜日が祝日の場合はその翌日）

※特別展・企画展開催中は変更することがありますのでご注意ください。

■ 観覧料

高校生以上…310円（団体250円）

小中学生 …150円（団体 90円）

特別展を観覧される場合

高校生以上…500円（団体400円）

小中学生 …250円（団体200円）

※団体は20人以上

※下記の方は無料でご観覧いただけますので、①②の方は証明できるものをご提示ください。（ミライロ ID 可）

①岐阜市在住の70歳以上の方（特別展を除く）

②身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳、難病に関する医療受給者証の交付を受けている方、及びその介護者1人

③家庭の日（毎月第3日曜日）に入館する中学生以下の方

④③に同伴する家族（高校生以上）の方（特別展を除く）

⑤岐阜市内の小中学生

※原三溪記念室は、無料でご観覧いただけます。

■ 交通案内

JR 岐阜駅・名鉄岐阜駅から岐阜バスにて長良方面行きに乗り、「岐阜公園歴史博物館前」で下車、徒歩約5分。

お車でこしの際は、岐阜公園駐車場をご利用ください。

詳しくは岐阜市歴史博物館ホームページをご覧ください。

<https://www.rekihaku.gifu.gifu.jp/>



＜原三溪記念室＞

岐阜バス茜部三田洞線 下佐波及びカラフルタウン行きに乗り、「下佐波」で下車、徒歩2分。

岐阜バス茜部三田洞線 もえぎの里及び高桑行きに乗り、「もえぎの里」で下車。

博物館だより No118 2024.10

編集・発行 岐阜市歴史博物館

（分館）加藤栄三・東一記念美術館（R6.6～休館中）

（分室）原三溪記念室

〒500-8003 岐阜市大宮町2-18-1 ————— ☎058(265)0010

〒500-8003 岐阜市大宮町1-46 ————— ☎058(264)6410

〒501-6121 岐阜市柳津町下佐波西1-15 もえぎの里2階 — ☎058(270)1080